



平成29年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6年 楽器 アルトン

授賞式の10分前。

私は舞台裏に向かった。

「期待」の気持ちと

「不安」の気持ち。

みんなが、「ゴールド金賞」

という言葉を待ち望んでいた。

でも、私が受け取った賞状

には、「銀賞」と書いてあった。

そのアナウンスを聞いた時、

客席にいるみんなは

どう思ったのだろうか。

私は頭が真っ白のまま

他の学校が喜びの歓声を

上げていゝるのを聞いていた。

授賞式が終わって退場。

その時にいきなり涙が

込み上げてきた。

悔しくて。悔しくて。

先生が笑顔で待っていた。

もう、これが最後だという

ことを考えたくなかった。

でもき。とこの涙は、

頑張ったからこそこの

涙だと思う。

外で泣いて待っていると、

客席にいたみんなが来た。

目には涙が浮かんでいた。

やっぱり、気持ちみんな同じ。

来年にはもう、中学1年になる。

今年のコンクールは終わった。

2度ともど、てこなし。

今日のこと思い出すと

今にも泣きそうになる。

だから、その思いをしっかりと

噛みしめて、来年、絶対全国

大会に行、てほしい。

そのために、私達6年生にも

できることがある。

それは、今の4・5年生に

私達が教わってきた全てを

教えてあげること。

きっと、この金管バンドは、

まだまだ上にいける。

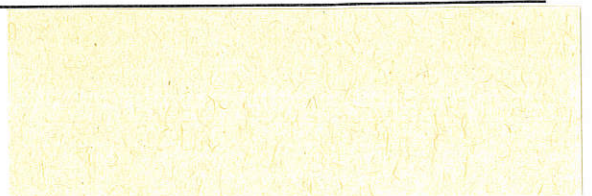


今日のことは大人になっても
絶対忘れないう。

小学校生活の中の

最高思い出として

として。





平成29年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年	6年	楽器	ユーホ
----	----	----	-----

今年が最後のコンクール。

去年の6年生がたどった夢。

全国で必ず金を取って帰ってきてほ
しいという夢。

これをかなえるためにみんなで全力で
やってきました。

応えんしてくれた人への感謝をこ
めた演奏をすること。

1音1音心をこめた演奏をす
ること。

流れに乗って演奏をすること。

できるかぎりのことは意識してや
った。

いろいろな方々に協力してもらいながら
私たちは全力で感謝しながらやってき
た。

でも結果は銀賞。

金賞を取れなかった。あたり前だけど
全国なんて今の私達には夢のまた夢
だった。6年生の夢もかなえられなかった。

小学校最後の夏が終わった。が、

まだ夢はおわらない。

来年は必ず全国行ってほしい。

私ができることは後はいをきつえあけること。

また感謝を忘れてはいけない。保護者、先生、

主事さん、講師の先生、地域の方々など私たちが

支えてきてくれた方々本当にありがとうございました。

そして5、4年生新入部員の3年生へ 来年は必ず

全国&金賞取ってきて下さい!



平成29年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6年 楽器 トロンボーン

9番、東陽小学校「銀賞」。

この一言を聞くと、私の頭の中に今まで
の練習の記憶がわきよみ返ってきた。
そして涙にぬれた。今年も絶対に
金賞をとりて全国に行く! という夢が
おぼろげにわいた。泣いたのは私だけではない。
悔しかったのは私だけではない。
皆一緒だった。

しかしこれがおぼろげではない。

賞ももらえるコンクールに出場する

これは、私にとってはおぼろげではない。

またあの「たははた」を練習し、吹くことは
ある。

↑"からその日まで" いっしょけんめい
練習し、そこで"自分の中の金^{カネ}を
もらえるようにがんばってほしい。



平成29年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6年 楽器 マルト
ホルン

私の今日のコンクール(本選)での目標は、
「保護者の方や先生方の期待に応える」
ということでした。

「銀賞」と聞いた瞬間。

「なんで!?! どうして!?! 何かA"×だったの!?!」
と、心の底から思いました。

悲しみより、その思いかとても
強かったです。

その「自信」は、本番のあの演奏があったから
です。

本番前は、「緊張」より「不安」が多かった
のに、本番では、曲に集中して、7分間
頭をマル回転させて演奏できました。

自分でも、今までにない、最高の演奏
だったと思っていたので、「自信」が
ありました。

でも、結果は銀賞だったので、
まだまだ練習不足かな...

私達の最高の演奏は銀賞レベルか...
とても心が折れました。

だけど、マニフェストが終わって、先生の話の時。
先生は、悲しんでいた私達に、

「結果はこうであれ、あなた達はこの夏、

練習してきたおかげで、身に付いたことには
かわりない」と言いました。

また、室井先生にも、「よくがんばって
くれたね」と言ってもらえたので、

賞は別に、期待に応えられたかな...

と思 いました。

明日からは、今日先生達に言われた

ことを胸に、コンクールを生かした

練習にしたいです。

応援してくれた方々、

本当に本当に、ありがとうございました！

そして、4・5年生には来年私達の分まで

がんばってほしいです。





平成29年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年	6年	楽器	TuB
----	----	----	-----

昨日、私は「これが最後になるかもしれない」
「だから全力でやりたい」と思っていました。
本当に最後となり、全国大会、大阪へ行く
ことができませんでした。結果で言えば
東陽は銀賞、なので今さら「も、と真面目に
練習すればよかった」「益子先生や室井先生、
大村先生などに言われた事を、と大切に
曲に生かせばよかった」というネガティブな事しか
頭になくな、てしまいました。

「去年大阪まで行くことができたのにどうして
今年に行けなかつたの？何がいけなかつたの？」
多分、去年のような努力が必要なのに「今年も
行ける！」と思、て努力が足りなかつた事と、今年に

比べてほかのバンドがとてもうまくなっていた
こと、その2つに意識を向けられなかった事が
問題だ、たと思います。

しかし2年前なんて、銀賞をとれただけで
うれしくて、「大阪へ行きたい」と最後にくやし泣き
をする人は1人もいなかたのを覚えています。
今日にくやし泣きをする人がたくさんいました。
それは「努力したからの涙」なので、悔しいけれど
練習にくいはありません。

今年大阪へ行けなかつた分、来年、再来年のバンド
が大阪へ行けるよう、応援したいと思います。そして、
夏の練習のために力を貸してくれた先生やお
母さん達に、一言、「ありがとう」を伝えられるように
これからもっと自分に厳しく練習したいと思います。
5年生、来年がんばって夢をかなえて下さい。



平成29年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年	6年	楽器	チューバ
----	----	----	------

いよいよ持ちに持った有明、東京都大会。
色々な方々の思いを背負い、本番に向かいます。
何故か、去年よりも緊張しているように思えました。
それは多分今年で最後のコンクールになって
しろう、恐怖感から出来てしまったのでしょう。
そして本番の時が来ました。でもいつもより
「心」のこもった良い演奏が出来たと私
は思っています。結果は銀賞。皆、くやしい
思いをしたと思えますが、去年、大阪にいった
貴重な体験が出来、それだけで大変、
うれしく思っています。来年のコンクールは
5年生と4年生に託して、今は残っている
少ない時間を楽しく過ごさせていたら
いいなと思っています。



平成29年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6年 楽器 ユーホ

結果は「銀賞」セーっばい練習した。

セーっばいっばいのせいかを全てだした。

けれど結果は「銀賞」私は最初の1音を

吹いた時、けっこういっ音響く音がでた。

その後の流れもよかった。だから「金賞とって

大阪いけるかな？」なんて思っていた。でもその

の後他の明治川や富士小はとってもうま

かった。でも心の中で「東陽小もまけていいかな。」

なんて思っていたのかもしれない。結果発表の

時、心臓がバクバクしていた。もし銀賞だ

たらどきどき。と思った。また絶対に金賞を

取って大阪に行くと決めていた夢なのだから

から、と自分の心を落ち着かせた。けれど結果

は銀賞だった。それをほかほかとけとめる
ことができた。それとともに大阪の
夢がきえた。私達6年生は最後のコ
ールだった。それに去年は全国大会
にいけていた。だから「来たかたりほか
たのか？」と思った。また大阪にいって、
富士小、明治小、七砂町小に「がんばれー」
って応援しよう。と決めた。だから来年は
大阪にいって金賞をとってほしい。



平成29年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年 6年 楽器 打楽器

今日の東京都大会では銀賞でした。
ぼくは、今年の6月下旬にこの金管バンド
に入って打楽器パートになりました。始
めての予選でも銀賞でした。それから
何度も毎日練習をして今回の大会を
むかえました。けれども、皆言われたことを
直さなかったり、くだらないことで注
意されたりして、大会の当日の朝にも
しゃべって注意されている人がい
ました。でもその後は、皆真剣に大
会にとりくんでいいえんそうをしたと思
います。結果は銀賞だったけどいいいけ
いけんになったので、それを今後に
役立てたいです。



平成29年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年	6年	楽器	打楽器
----	----	----	-----

今日、最後のコンクールが終わりました。
表彰式は、東陽小の出番より
きんちょうしました。東陽小の前に
金かけ、こう言われたので、すごく
不安になりました。結果銀賞
でした。最初は、泣けませんでした
が、みんなと合流して、みんな
が泣いていたので、私も泣いて
きました。結果は銀賞でしたが、
「去年、全国に行けたからこそ、今年
行けないうから、くやしいと思う。」と
いう先生の言葉には、なっとく
しました。銀賞と聞いた時、

この夏のほとんどをういやした
練習に自分は本当にがんばれた
のか、本当に、全ての力をこめて
きたのか、もう少しがんばれたら
金をとれたのかと色々思いました。

そんな私たち6年のためにも、
来年も全国めざしてほしいです。

今日まで応援してくださった、

先生方、地域の方々、そして

毎日、お弁当作ってくれたお母さん方
には、すごく感謝しています。

氏名



平成29年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年	6年	楽器	トランペット
----	----	----	--------

きょうの結果は銀賞で6年最後のコン
クールで金賞がとれなくてすごく、くやしかった。

でも、みまもりにきてくださったお母さんたちやおしえ
にきてくださった講師の先生がたをうらぎるよ
うな態度や演奏はしてなかったと思うのでそのめん
ではよかったと思いました。

練習の課題もみつかったからこのくやしさを
胸にこんごの金管の活動につなげられるよ
うにできましたいいと思います。

ぼくたち6年生は今年で卒業してしまふけど
きょうのくやしさを胸にも、来年、ぜったいに、
金賞とって、全国大会にいらしてほしいです。

でも、金管の練習はまだあるので、がんばりたい
です。



平成29年度
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

有明

学年	6年	楽器	トランペット
----	----	----	--------

とうとう終わってしまいました。

「ゴールド金賞」という言葉を待っていたのに、結果は「銀賞」。

「なんで!! がんばったのに! なんで銀賞なの!」という気持ち

でいっぱいになりました。

悲しか、たけれど、泣きませんでした。その時、

「私はあまりがんばってないから泣けないのかな」と思いました。

悲しみよりも、いかりや「なんで!」という気持ちの方が

大きか、たと思います。

それから、何も考えられず、外に出ました。

先生は、「結果はどうかあれ、今までつけてきた力は変わらない、

いい演奏だった。」と言ってくれました。

その瞬間、涙がブワッとしてきました。

どうしてかわからないけど、とても悲しくなりました。

だんだんと、「もう最後なんだな」と思って、

涙がとまらなくなりました。

先生の話が終わってお母さんの方を見ると、

お母さんは笑顔で待っていてくれました。

「みんなの期待に応えられなかった」という気持ちと、

「全国大会に行きたかった」という気持ちがいきにくみあけてきて、

私はただただ泣きつづけました。

最後のコンクールだったから、全国大会は行きたかったけど、

再入部したばかりなのに、たくさん吹かせてもらったので、

とても楽しかったです！

次のコンクール、4、5年生と、新しく入ってくる3年生に

がんばってほしいです！ 東陽小ファイト！！